

BBLセミナー コメント資料

2022年10月20日

「ファストデジタルツインで保全設備を変える
～プラントDXを加速する取り組み最新事例～」

コメンテータ

佐分利 応貴

RIETI国際・広報ディレクター / 経済産業省大臣官房参事

“デジタルツインは日本と世界を救う”

デジタルツインとは？

- ・インターネットに接続した機器などを活用して現実空間の情報を取得し、サイバー空間内に現実空間の環境を再現すること。2002年に米ミシガン大学のマイケル・グリーブスによって広く提唱された概念。
- ・現実世界と対になる双子（ツイン）をデジタル空間上に構築し、モニタリングやシミュレーションを可能にする。

※ 政府ホームページより

→ **メタバース（仮想空間）ではない**

デジタルツインは日本を救う

1. デジタル世界に国境はない
→ もはや極東ではない+言語の壁もなくなる
2. 日本には強烈なデジタルツインのニーズがある
3. **日本にはものづくりの強みがある**

デジタルツインは世界を救う

1. デジタル世界に国境はない = 日本の技術が世界を救う
2. あらゆる社会問題を可視化（シミュレーションも可能）
- 3. CO2排出が削減できる**

日本は世界を救えるのか？

質問：日本がデジタルツインの世界（6DI）で卓越するには
何が必要か？

